



# 熊本県 熊本県海水養殖漁業協同組合(天草市) 『鮮魚・活魚(ブリ、マダイ、シマアジ)を世界の食卓へ』

## 【主な品目】

ブリ、マダイ、シマアジ、カンパチほか

## 【主な輸出先国・地域】

韓国、アメリカ、香港、シンガポールほか

## 【輸出取組の概要】

- ◆ 平成23年に香港、シンガポールへ輸出を開始。現在15ヶ所の国や地域へ販路を拡大。
- ◆ 作業の効率化を図る機器導入や相手国の厳しい輸出基準をクリアし輸出量を増加。
- ◆ 今後は新たな需要(アフターコロナ)に対応し、EUへの輸出を目指す。

## 【輸出実績】(平成23年度から輸出開始)

	輸出額(百万円)	輸出量(t)	出荷時期
令和元年度	777	747	通年
平成30年度	481	417	
平成29年度	374	383	

## 【効果があった取組】

パッケージ販売の実施や相手国の輸入基準をクリアすることで販路を拡大。



## 【取り組む際に生じた課題】

- 1 魚種によって、国内業者との競合。
- 2 相手国の厳しい輸入基準をクリアするため酸化防止剤低減への対応。
- 3 大口取引先を開拓したことにより、更なる作業効率化の必要性が発生。

## 【生じた課題への対応】

- 1 パッケージ販売を実施し、競争力の強化。
- 2 EP飼料からモイストペレット飼料へ変更し、酸化防止剤の配合比率を低減。
- 3 魚体洗浄機やタイ、シマアジのヘッドカッターを導入。

※ EP飼料(固形のエサ) モイストペレット飼料(半生のエサ)

## 【対応の結果】

- 1 差別化を図り、有利販売へ繋がった。
- 2 日本より厳しい基準をクリアすることに成功。
- 3 手作業で行っていた工程を機械化することで、作業の効率化を実現。

## 【今後の課題・展望】

これまで輸出の中心は活魚やチルドであったが、新型コロナの影響で海外でもテイクアウトの需要が増加したことにより、今後、新たな需要(アフターコロナ)に対応するための機器を導入し、EUへの輸出にも取り組む予定。

【活用した支援・施策】水産物輸出産地緊急対策事業

【ウェブサイト】<http://marukuma.or.jp/>

【連絡先】担当者名 藤本、金棒 TEL:0969-72-1221



(養殖生け簀からの取り上げ作業)



(海外でのセミナー・商談会の模様)